

# '22春闘ニュース



発行元：神奈川県労働組合総連合 - 横浜市中区桜木町3-9横浜平和と労働会館 6F TEL045-212-5855 / FAX045-212-5745

## 春闘討論集会 開催

神奈川県国民春闘共闘会議は、12月19日に「春闘討論集会」を開催し、40人超が参加しました。住谷代表委員（神奈川労連議長）は主催者あいさつで、岸田政権の危険性などにも触れながら「労働者が団結して、国民とともに闘う春闘が求められている」と強調しました。



### 格差是正がポイント

東京春闘の屋代事務局次長が「職場・現場・地域から運動と要求の前進をめざす22国民春闘」と題して講演まず、30年にわたって賃金水準が改善されてこなかった経過を振り返ったうえで「日本の労働運動が、なぜ弱体化しているの」と問題を提起しました。最大の要因として、「多様な雇用形態が意図的につくられ、賃金格差を生じさせることによって、全体としての賃金・労働条件の改善がはかられなくなった」と指摘。この動きに大きな反対運動をできなかった労働組合運動の責任も述べながら、「賃上げ実現には、格差是正がポイント」と強調しました。そして、「労働者と使用者という階級社会において、闘わなければ賃金は勝ちとれない」と述べ賃上げを勝ちとれない閉塞感を打開するためにも「学習活動が重要」と強調しました。

### すべての労働者を視野に

22国民春闘を展望を持ってとりくむために、「使用者側の狙いをしっかり見抜いて、すべての労働者を視野に入れて闘うことが必要」と述べたうえで、東京における産別組織や地域組織の具体的なとりくみを紹介しました。あわせて、政府に経済政策の転換を求めていくとりくみや、労働組合の存在を労働者に見せていく活動などの重要性も指摘し、そして要求を勝ちとるために、ストライキの重要性を強調しました。

最後に、「長年にわたってつくられた低賃金構造は一朝一夕で変えられない。圧倒的多数の未組織労働者に共感と連帯を持ってもらえる運動の積み上げが必要」としたうえで、「役員など幹部が、自らの頭で考え、新たな運動を展開していく決意を持つことが重要」と強調しました。

### 要求に基づく原則的な活動

神奈川県の国民春闘方針案を山田事務局長が提案。諸外国と比べて、日本・神奈川の労働者の賃金が低いことを組合員が認識し、未組織労働者にも知らせながら、「賃上げは正当な要求」と確信を持つとりくむことを呼びかけました。そして、岸田政権の「ケア労働者の賃上げ」があまりにも低水準なまやかしであることを指摘し、生計費に基づく大幅賃上げ・底上げをめざすことを提案。具体的には、要求アンケートを幅広く集め、みんなで議論して要求を練り上げる原則的な活動の重視や、統一行動への結集を提起。あわせて、改憲策動が急速に強まっていることから、新たな全国署名をはじめとした憲法闘争を春闘期に強めることも強調しました。

春闘にむけて活発な討論 次ページつづく、、、

# 春闘討論集会 開催

## 春闘にむけて活発な討論

方針案提案後の討論では7人が発言しました。

### ①横浜地区労・佐々木さん

「変えるリーフ」の配布行動を、地区労として意義づけてとりくむ。1つは、地域組織として未組織労働者の声を集める、2つは行動を通じて組織内の連帯を強める。わかりやすい言葉も使って若い労働者の結集をはかりたい。

### ②国労神奈川地区本部・井草さん

公共交通機関の役割を守るため、コロナ禍でも労働者は一生懸命働いている。しかしJRは「一時金は利益が上がってこそ。あるだけまし」と言い放ち、定昇もカットした。コロナ禍で新自由主義のツケが表れた。新自由主義政策の先駆けとなった「国鉄分割民営化」を改めて検証する必要がある。民営化後、どんどん鉄路がなくなり、労働者も分断されている。多数は組合がなくなって、組織拡大の可能性が広がっている。

### ③自治労連・神田さん

新自由主義政策に基づく人員削減によって、コロナ禍対策が充分できない事態に。自治体労働者は長時間労働を余儀なくされた。初任給水準が低く最低賃金割れの事態が広がっている。2023年から定年延長実施にむけて交渉が始まるが、不利益を許さないとりくみが必要。

### ④ユーコープ労組・星さん

パート労働者の格差是正として、家族手当や私傷病休暇制度の改善を求めたが、前進できなかった。しかし、団体交渉での当事者の組合員からの声に、理事会は反論できない。子会社や関連会社では要求が前進した。春闘にむけて最賃の学習を行っている。地域最賃に影響されて、パートの基本時給に差があり、是正を求めている。

### ⑤全国一般・安西さん

零細企業で働いているが、会社は儲かっている。経営者が変わってから賃金が上がらなくなった。労働組合を結成したが、攻撃があり組合員は自分だけになった。しかし、従業員代表選挙で選ばれるまでに挽回している。これからも闘いを進めるので支援を。

### ⑥建設労連・松本さん

来月にかけて賃金要求の議論を行っており、2千人ほどの組合員が議論に参加する。昨年は「月額70万円、年額850万円」を掲げた。「要求する賃金は高くても良いんだ」と意思統一し、現場宣伝などでも訴えている。業界団体も「2%賃上げ」を言っており、賃上げの流れはあるが、職場・現場から積み上げていくことが大事で、とりくみを進める。

### ⑦年金者組合・石黒さん

年金切り下げを許さないために「年金引き下げ違憲訴訟」を闘っており、来年には結審・判決の山場を迎える。コロナ禍で仲間づくりで苦戦しているが、12月に入って増勢に転じてきており、さらに奮闘していく。

# 第132期 労働学校

「第132期労働学校」が12月6日、13日、30日の3週にわたり、開催されました。

毎年秋に開催される労働学校は「貧困・安保・憲法」をテーマとし、神奈川県労働者学習協会が呼びかける実行委員会として運営されています。神奈川労連などの労働組合も協賛し、取り組まれました。



実行委員会では「今日的課題を切り口に貧困・安保・憲法を学ぶことが大事」との議論より、1週目は「気候変動と今日の情勢（講師：新谷昌之さん）」、2週目は「日本の安全保障と日米安保（講師：布施祐仁さん）」、3週目は「ジェンダー平等と日本国憲法（講師：太田伊早子さん）」をテーマに学びました。参加者はオンライン参加も含め、延べ63名でした。

参加者からは「温暖化ストップの運動は社会発展の原動力に思えてきました」、「日米安保は日本を守るためだけでなく、アメリカを守るための条約だということが良くわかりました」、「ほとんどの日本人はこの実像を知りません。憲法改正にしろ平和にしろ、この実像を正確に伝えていくことが必要だと強く感じました」、「特権性についての解説がとても良かったです。ジェンダーのみならず、差別を生む代表的な7つの例から、私も自分の身を振り返ることができました」などと言った多くの感想が寄せられ、確信の広がる学びの場をつくることができました。



# 県央地区春闘共闘会議 結成総会・学習会

厚木市などを中心とした県央地区の春闘共闘会議の結成総会が12月17日に開催されました。

厚木地区労の関谷議長が主催者あいさつ。「今日の国会で共産党の小池議員が最低賃金の大幅引き上げを求めたが、岸田首相はまともに答弁しない。政権の本質が表れている」と指摘し、春闘で大幅賃上げをめざすことを呼びかけました。

石山事務局長が、春闘方針案や財政、役員などを提案しました。賃上げや職場と雇用を守る闘い、憲法改悪などの悪政をストップするとりくみなどを基調として提起し、具体的に「春の総行動」に結集してとりくむことを提案。また、労働組合だけでなく、業者団体や女性団体など共同を広げて運動を進めることも提案し、財政や役員体制とともに、参加者の拍手で確認されました。

第2部として学習会を開催し、県春闘共闘の山田事務局長が「地域から春闘をどうたたかうか」と題して講演をしました。資料を示しながら、労働者全体の賃金が下がり生活も苦しくなっている中、「あきらめ感」も一定数あることを指摘し、基本的な学習を重視してとりくむことが重要と述べ、地域などにおける学習運動の推進を呼びかけました。

また、「国民春闘」として、賃金・労働条件だけでなく、地域の様々な要求をくみ上げて自由な発想で「地域春闘」をとりくむことも提案。「アメリカなどでは労働運動と市民運動が結びつくことで、成果も生まれている。みなで工夫しながら地域春闘をつくっていこう」と訴えました。

